

平成23年度大阪府学力・学習状況調査

—柏原市における結果の概要について—

調査の目的

1. 府内の義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
2. 各教育委員会、学校等が府内的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
3. 各学校が各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。

調査の概要

- | | |
|---------|--|
| 1. 調査日 | 平成23年6月14日（火） |
| 2. 対象学年 | 小学校6年生・中学校3年生の全児童・生徒 |
| 3. 調査内容 | 小学校6年生 国語AとB・算数AとB・質問紙調査
中学校3年生 国語AとB・数学AとB・英語・質問 |

問題A

- 主として「知識」に関する問題

- 身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容
- 実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など

問題B

- 主として「活用」に関する問題

- 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容
- 様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容

質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等について設問に選択式で答える問題

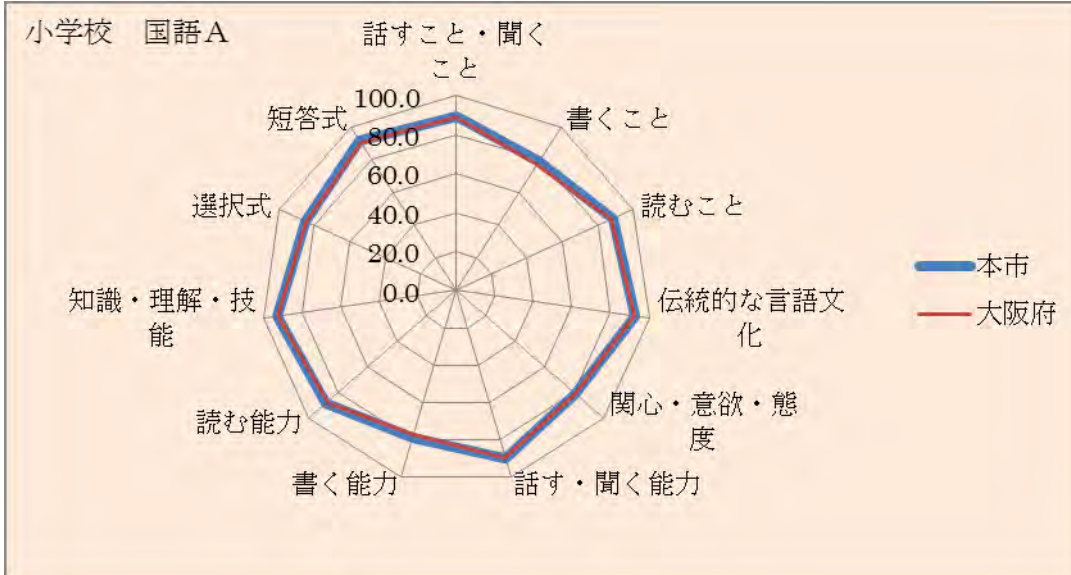
調査の結果の公表

- この調査から測定できるのは学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどを踏まえ、序列化や過度な競争につながらないように十分配慮し、結果の概要をお知らせします。
- 他校との優劣の比較が目的ではないことを再確認するとともに、柏原市全体の児童生徒の現状を十分に把握して、今後の教育施策、教育実践に反映させ、「生きる力」を育むことに活用します。
- 知育、徳育、体育を含めた広い意味で学力向上に役立てることを目的として、公表にあたっては、学校名を明らかにしません。
- 本年度は全国学力状況調査が中止のため、全国の平均正答率はございません。

各教科別の調査結果の概要

各教科別の調査結果の概要

① 学校国語 A（主として知識に関する問題）



各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

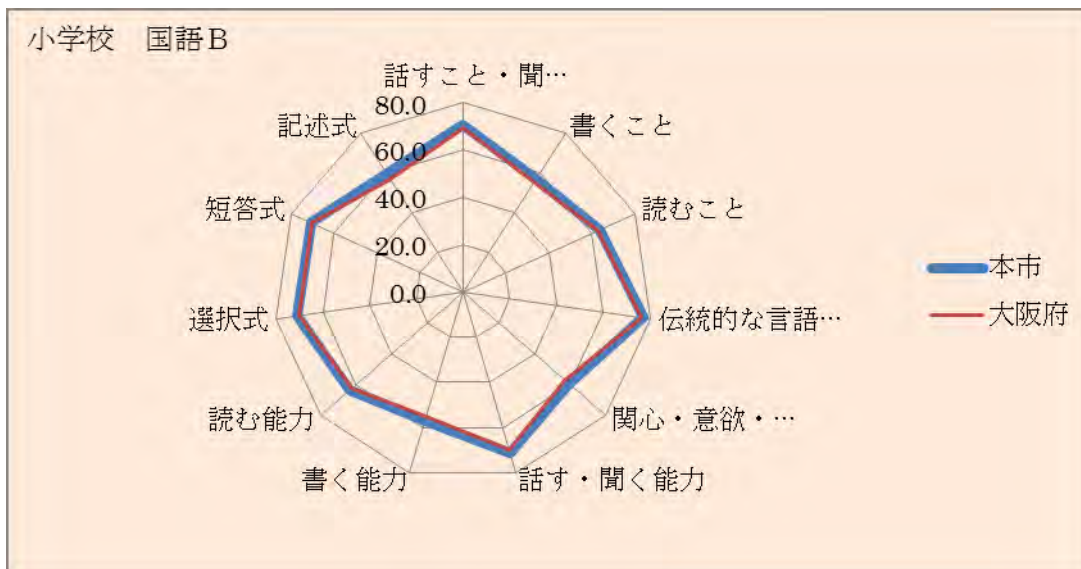
分類	区分	対象設問数
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	2
	書くこと	3
	読むこと	4
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1 2
評価の観点	(国語への) 関心・意欲・態度	2
	話す・聞く能力	2
	書く能力	3
	読む能力	4
	言語についての知識・理解・技能	1 2
問題形式	選択式	7
	短答式	1 0
	記述式	0

平均正答率

本市	大阪府（公立）
89.0%	88.1%

「書くこと」「書く能力」に課題が見られます。

②小学校国語B（主として活用に関する問題）



各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

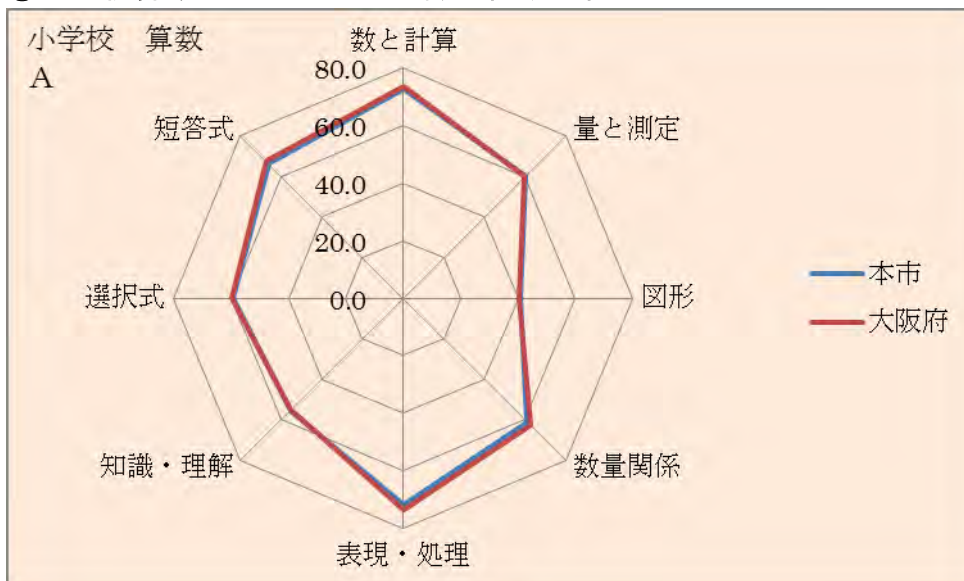
分類	区分	対象設問数
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4
	書くこと	3
	読むこと	7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	4
	話す・聞く能力	4
	書く能力	3
	読む能力	7
	言語についての知識・理解・技能	0
問題形式	選択式	2
	短答式	4
	記述式	4

平均正答率

本市	大阪府（公立）
66.2%	64.9%

「書くこと」「書く能力」に課題が見られます。

③小学校算数A（主として知識に関する問題）



各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

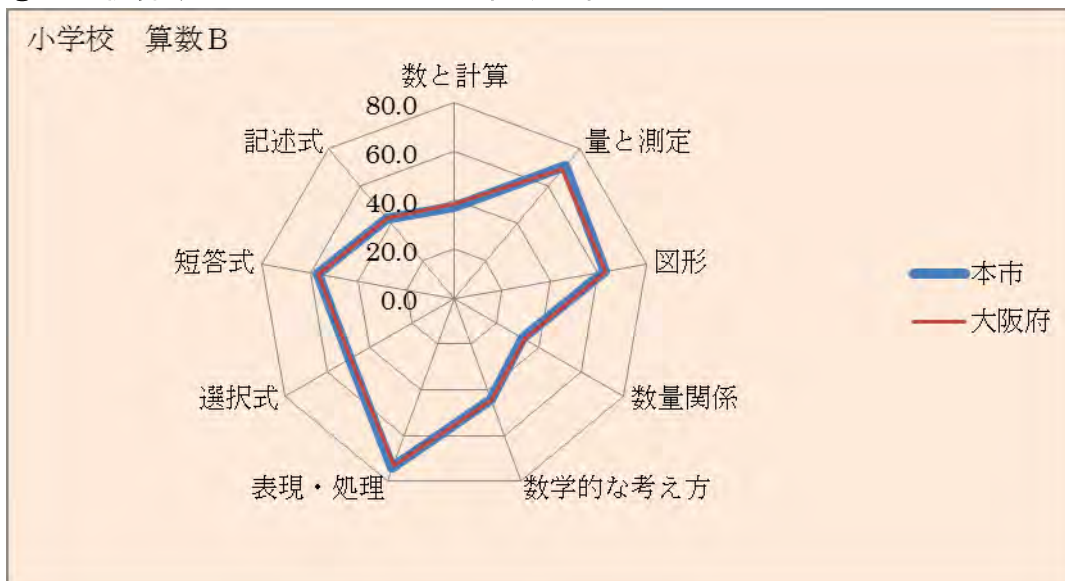
分類	区分	対象設問数
学習指導要領の領域等	数と計算	8
	量と測定	3
	図形	3
	数量関係	4
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0
	数学的な考え方	0
	数量や図形についての技能	8
	数量や図形についての知識・理解	10
問題形式	選択式	9
	短答式	9
	記述式	0

平均正答率

本市	大阪府（公立）
68.2%	63.4%

どの分類に置いても、比較的に良好な結果でしたが、「図形」に課題があります。

④小学校算数B（主として活用に関する問題）



各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

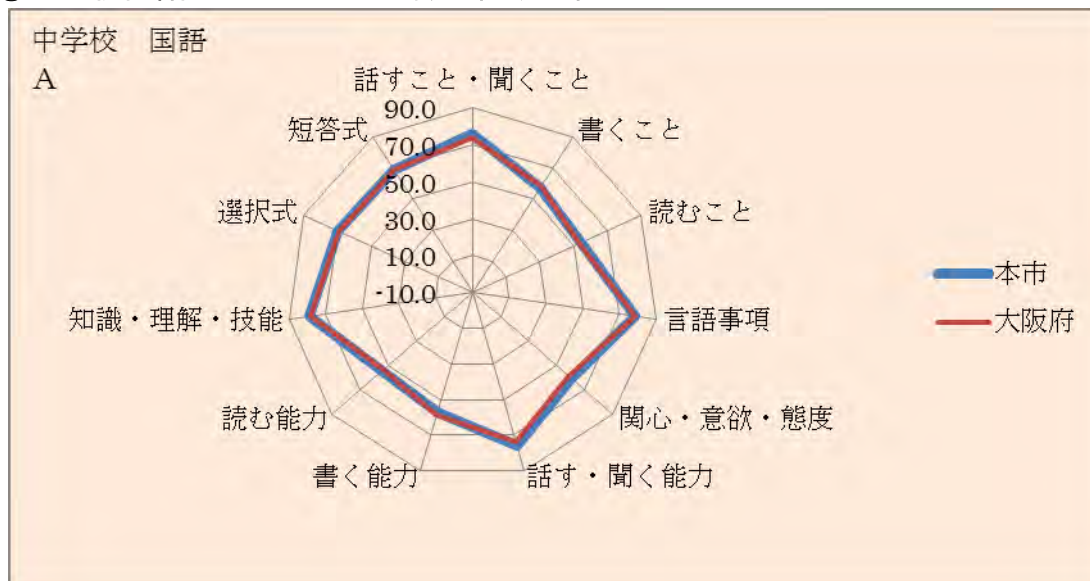
分類	区分	対象設問数
学習指導要領の領域等	数と計算	3
	量と測定	3
	図形	3
	数量関係	6
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0
	数学的な考え方	10
	数量や図形についての技能	3
	数量や図形についての知識・理解	0
問題形式	選択式	4
	短答式	6
	記述式	3

平均正答率

本市	大阪府（公立）
51.2%	51.2%

「数量」に課題が見られる他、「記述的な問題」にも課題が見られます。

⑤中学校国語A（主として知識に関する問題）



各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

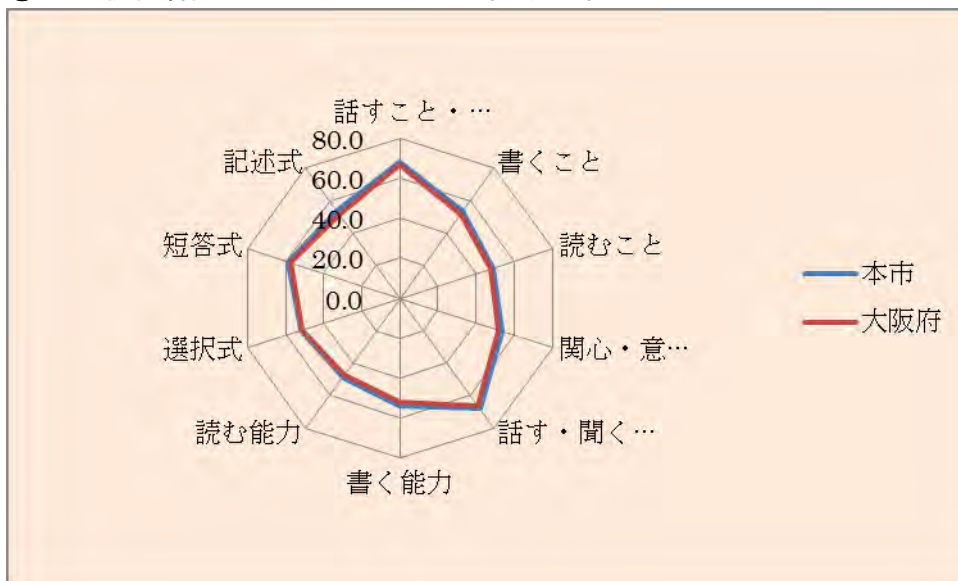
分類	区分	対象設問数
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	5
	書くこと	4
	読むこと	8
	言語事項	15
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3
	話す・聞く能力	5
	書く能力	4
	読む能力	8
	言語についての知識・理解・技能	15
問題形式	選択式	16
	短答式	16
	記述式	0

平均正答率

本市	大阪府（公立）
69.4%	69.0%

「書くこと」「読むこと」に課題が見られます。

⑥中学校国語B（主として活用に関する問題）



各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

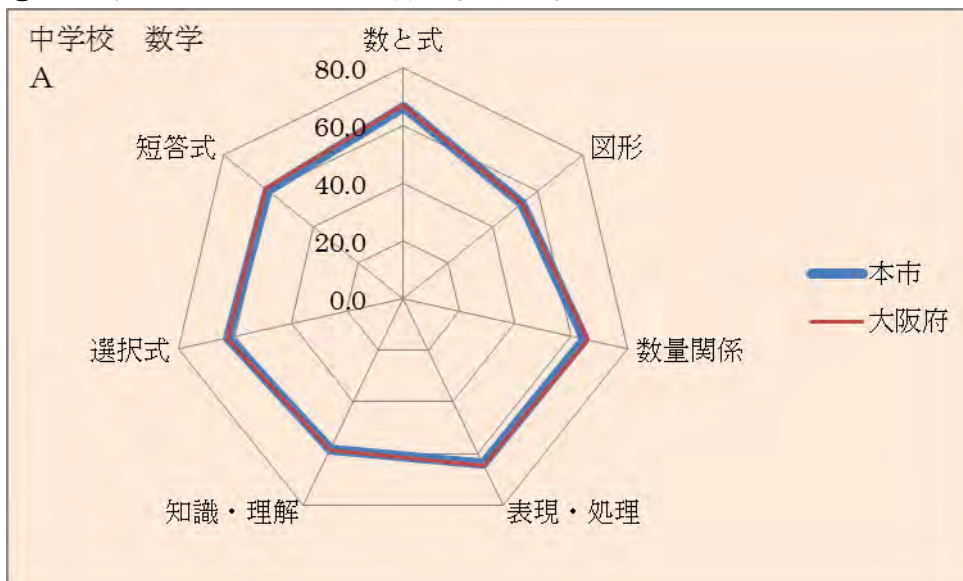
分類	区分	対象設問数
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3
	書くこと	3
	読むこと	7
	言語事項	0
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3
	話す・聞く能力	3
	書く能力	3
	読む能力	7
問題形式	選択式	4
	短答式	3
	記述式	3

平均正答率

本市	大阪府（公立）
54.5%	53.2%

「記述式」が課題と言えます。

⑦中学数学A（主として知識に関する問題）



各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

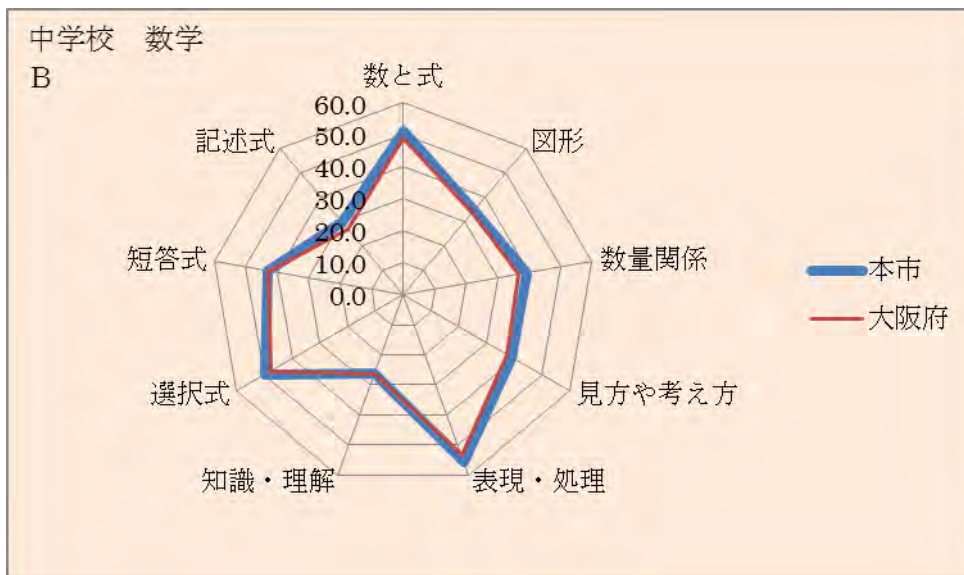
分類	区分	対象設問数
学習指導要領の領域等	数と式	1 1
	図形	1 1
	数量関係	1 1
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0
	数学的な見方や考え方	0
	数学的な表現、処理	1 8
	数量や図形などについての知識・理解	1 5
問題形式	選択式	1 8
	短答式	1 5
	記述式	0

平均正答率

本市	大阪府（公立）
61.4%	62.1%

「図形」の項目で、他の項目より低い値になりました。

⑧中学校数学B（主として活用に関する問題）



各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

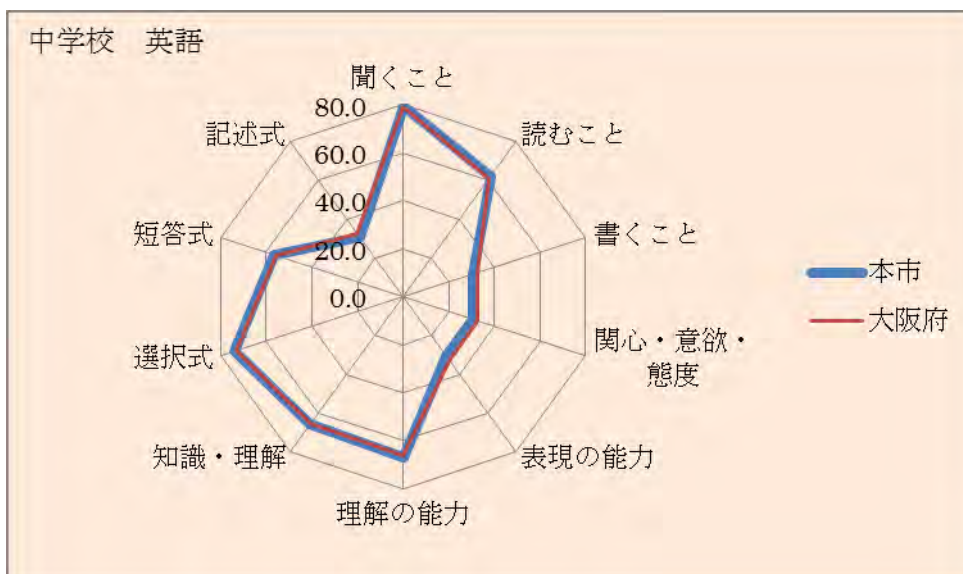
分類	区分	対象設問数
学習指導要領の領域等	数と式	4
	図形	6
	数量関係	6
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0
	数学的な見方や考え方	13
	数学的な表現・処理	2
問題形式	選択式	6
	短答式	4
	記述式	6

平均正答率

本市	大阪府（公立）
40.4%	38.7%

「記述式」「知識理解」の項目で、課題が見られます。

⑨中学校英語



各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

分類	区分	対象設問数
学習指導要領の領域等	聞くこと	8
	話すこと	0
	読むこと	17
	書くこと	5
評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	5
	表現の能力	5
	理解の能力	24
	言語や文化についての知識・理解	5
問題形式	選択式	16
	短答式	9
	記述式	5

平均正答率

本市	大阪府（公立）
61.3%	61.1%

「記述式」「表現の能力」「関心・意欲・態度」の項目で、課題が見られません。

生活習慣や学習環境に関する質問紙調査結果の 概要

生活習慣や学習環境に関する質問紙調査結果の概要

基本的な生活習慣

「朝食を毎日食べていますか」

「家で学校の宿題をしますか」

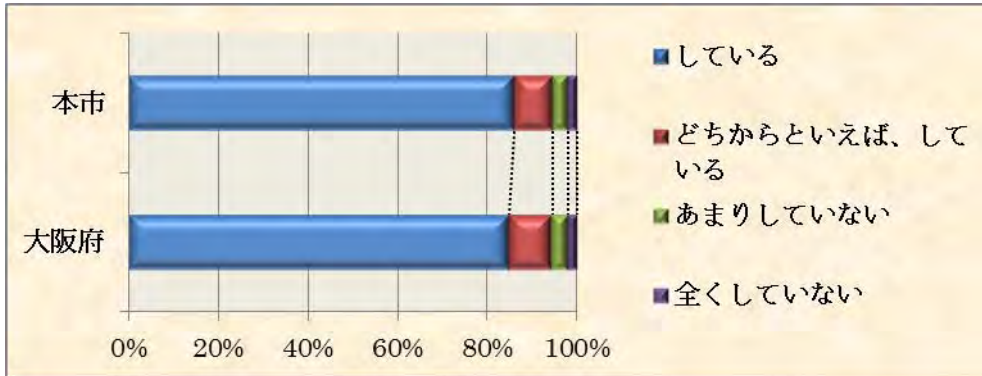
「学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめていますか」

- 朝食を毎日食べている子どもの方が、正答率は高い傾向にある。本市の中学生の朝食を必ず食べる割合が大阪府より高い。
- 宿題をしている子どもが正答率は高く、特に算数・数学科で差があいている。
- 学校に持っていくものを確かめている子どもの方が、正答率は高い傾向にある。

① 朝食

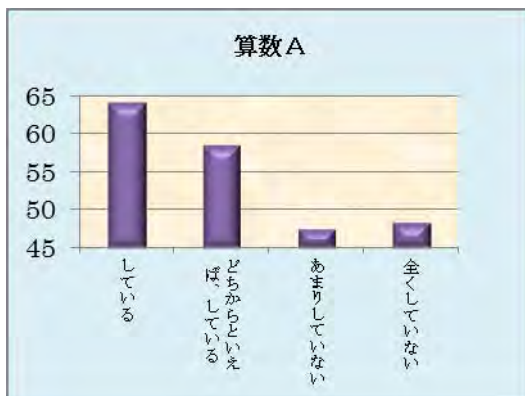
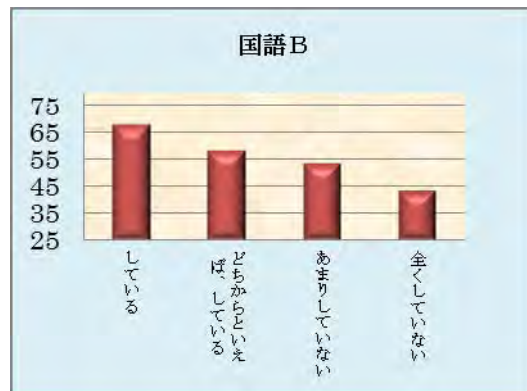
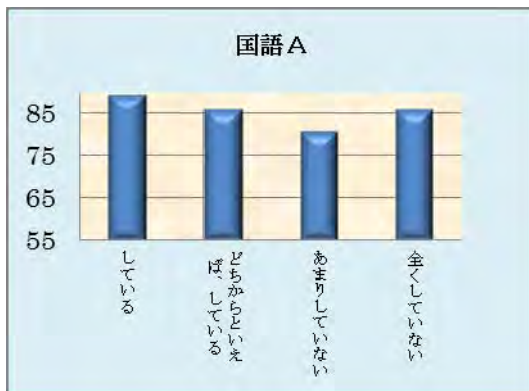
「朝食を毎日食べていますか」

小学生

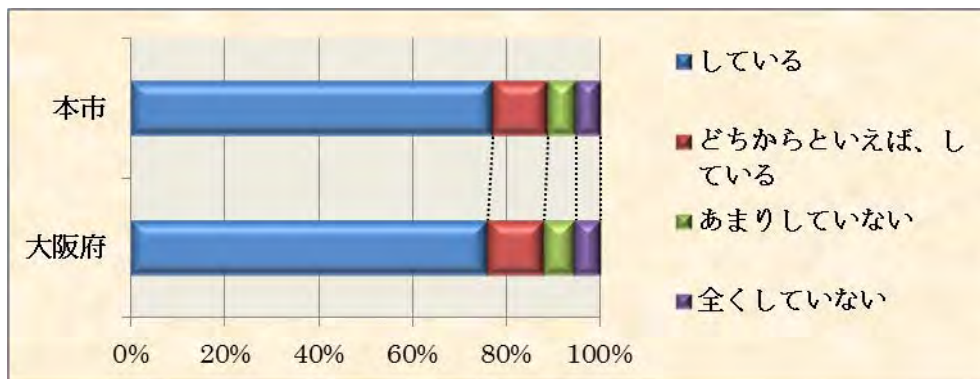


朝食を毎日食べている本市の子どもの割合は、大阪府平均よりやや高い。

学力調査とのクロス集計

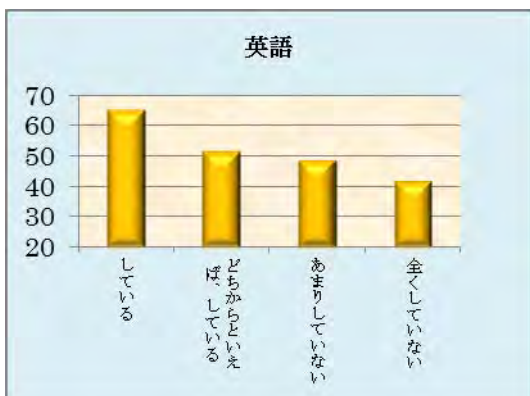
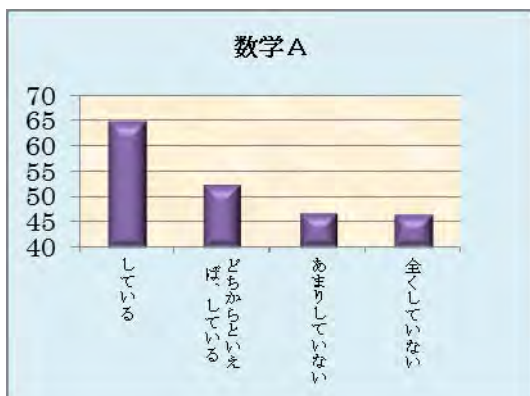
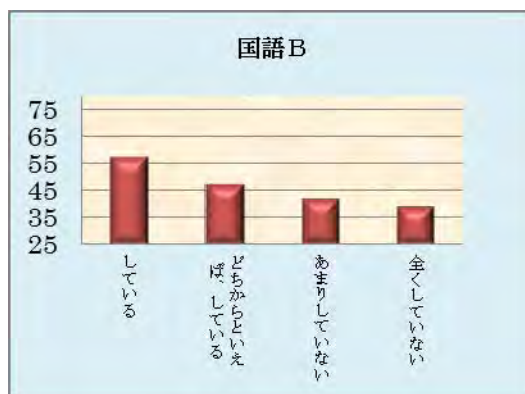


中学生



朝食を毎日食べている本市の子どもの割合は、小学生より若干減っているが、大阪府よりやや高い。

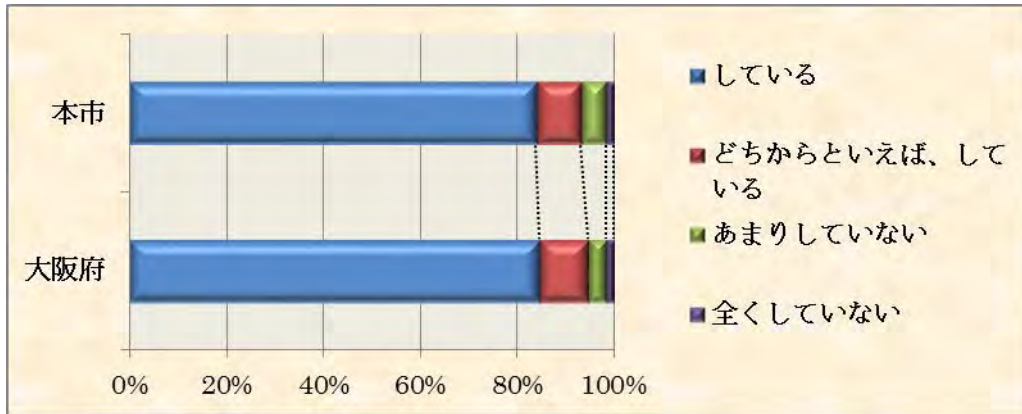
学力調査とのクロス集計



② 宿題

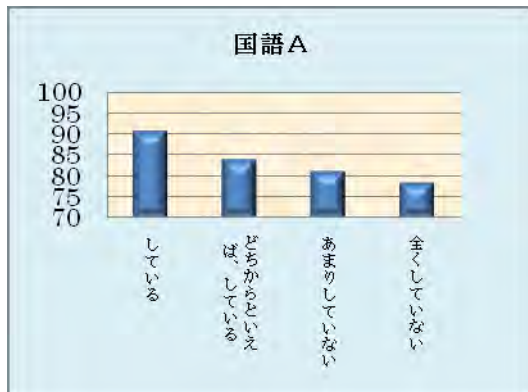
「家で学校の宿題をしていますか」

小学生

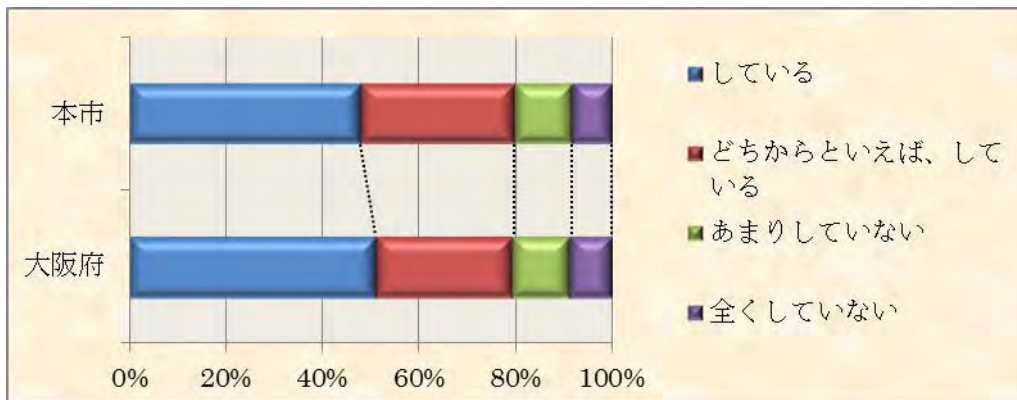


宿題をする小学生の割合は、府の平均並だが、あまりしていない児童が5%いる。

学力とのクロス集計 (縦軸は平均正答率)

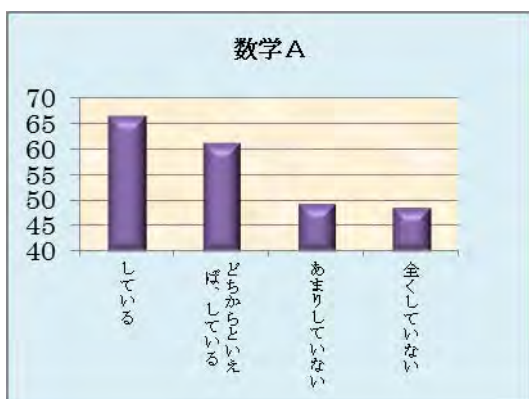
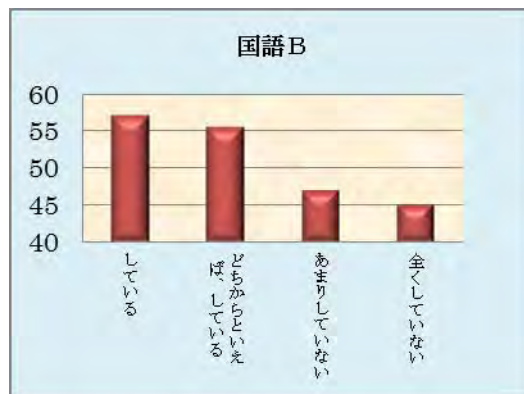


中学生



宿題をする生徒（どちらかといえばしているを含む）は、大阪府の平均とほぼ同じである。

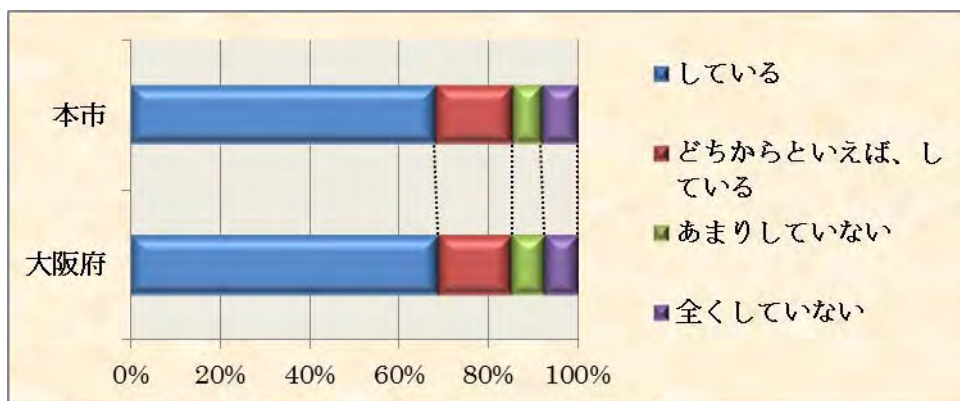
学力調査とのクロス集計



③ 学校の準備

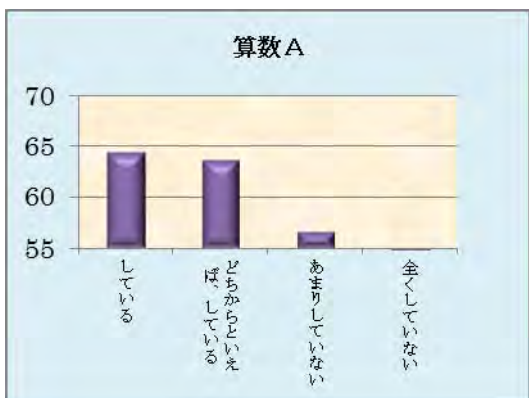
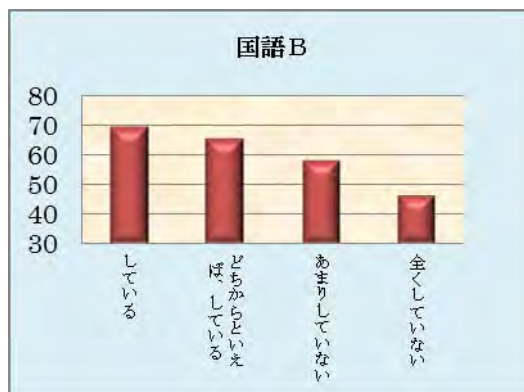
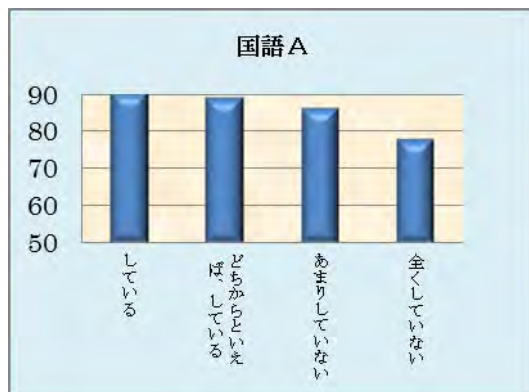
「学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめていますか」

小学生

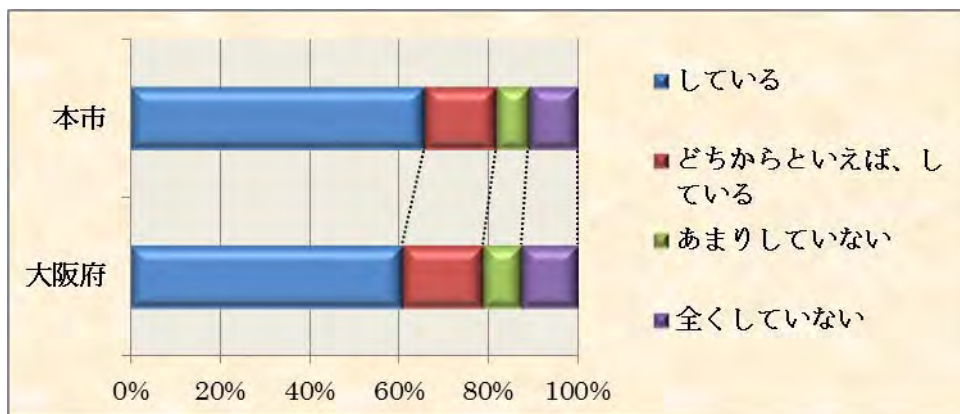


学校に持って行くものを確かめている本市の子どもの割合は、大阪府平均並であるが、全くしていない児童がやや多い。

学力調査とのクロス集計

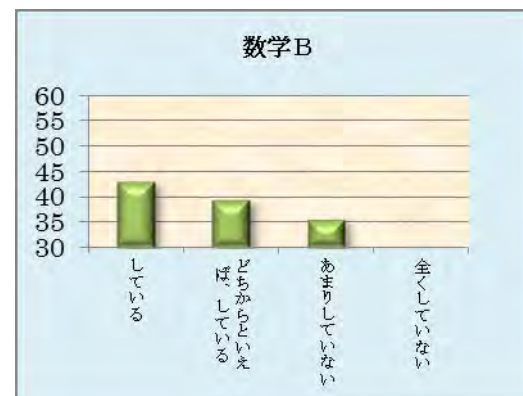
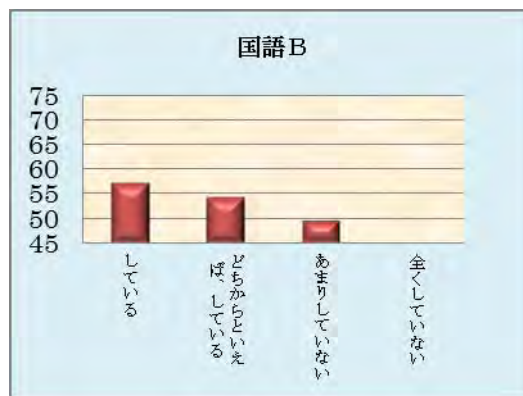
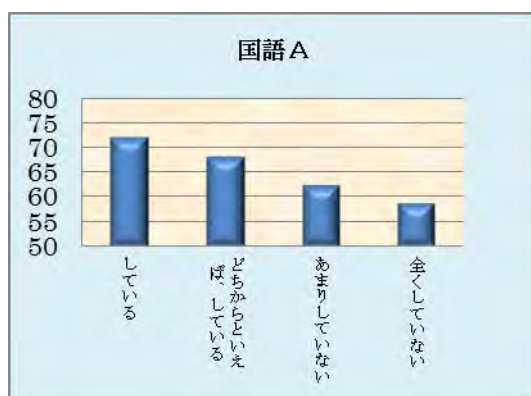


中学生



学校に持っていくものを確かめている本市の子どもの割合が大阪府の平均より高い。

学力調査とのクロス集計



学習習慣、意欲、関心・態度等の概要

学習習慣、意欲、関心、態度等

「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか」

「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」

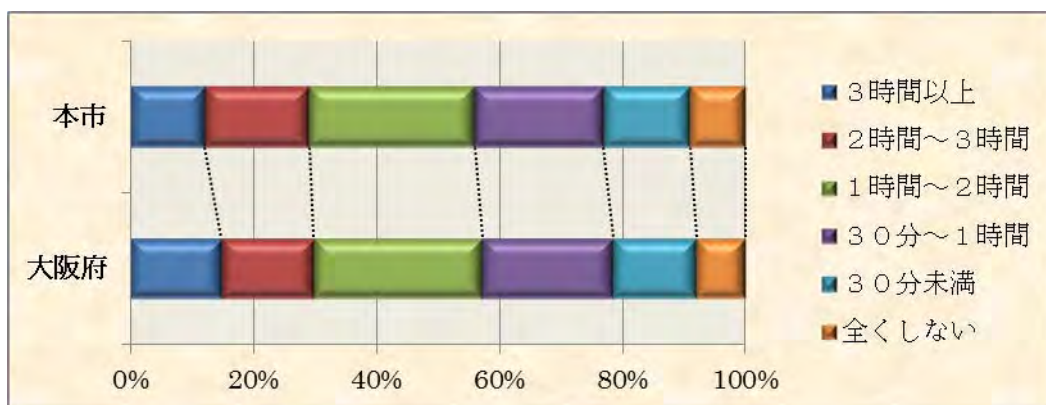
「読書は好きですか」

- ・ 普段、学校の授業時間以外で全く勉強しない子どもの正答率は低い傾向にある。
- ・ 自分で計画を立てて学習している子どもの正答率は高い傾向にある。
- ・ 読書好きの子どもの正答率は、国語だけではなく、算数（数学）も高い傾向にある。

①勉強時間

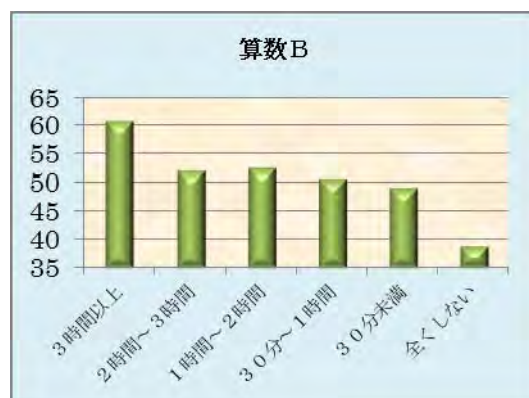
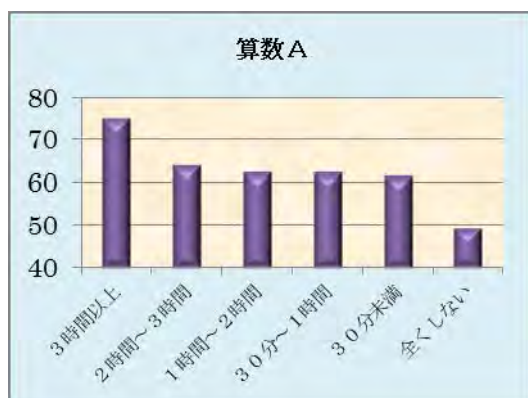
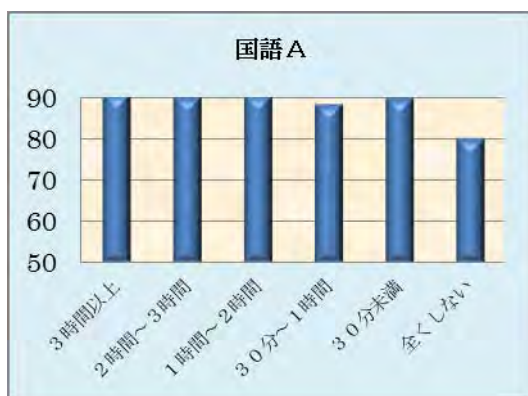
「学校の授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間勉強しますか」

小学生

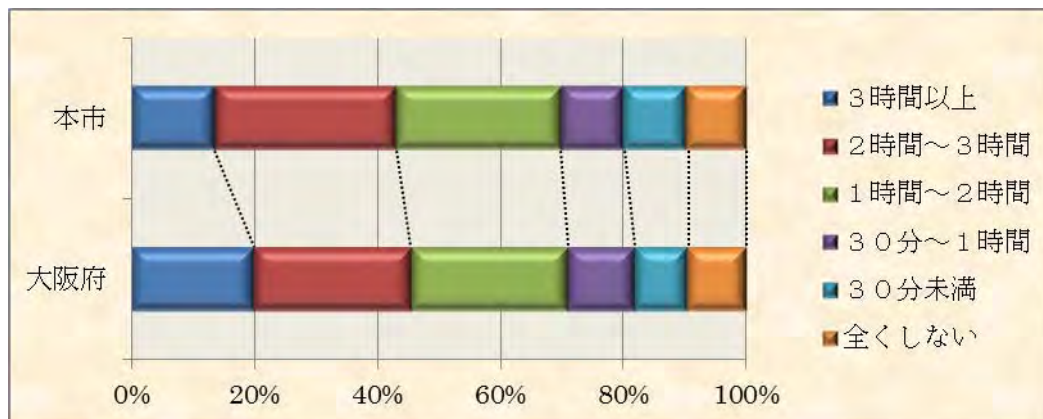


普段の学習時間が30分未満、全くしない子どもの割合が大阪府平均よりやや大きい。

学力調査とのクロス集計

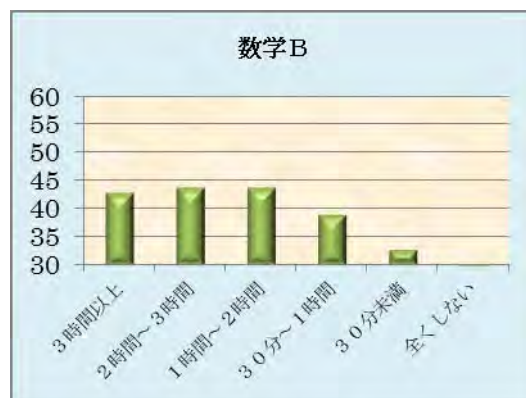
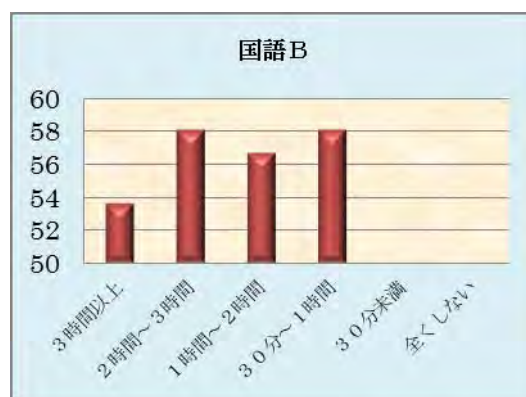


中学生



授業時間以外での勉強時間が1時間満たない子どもが3割近くもいる。

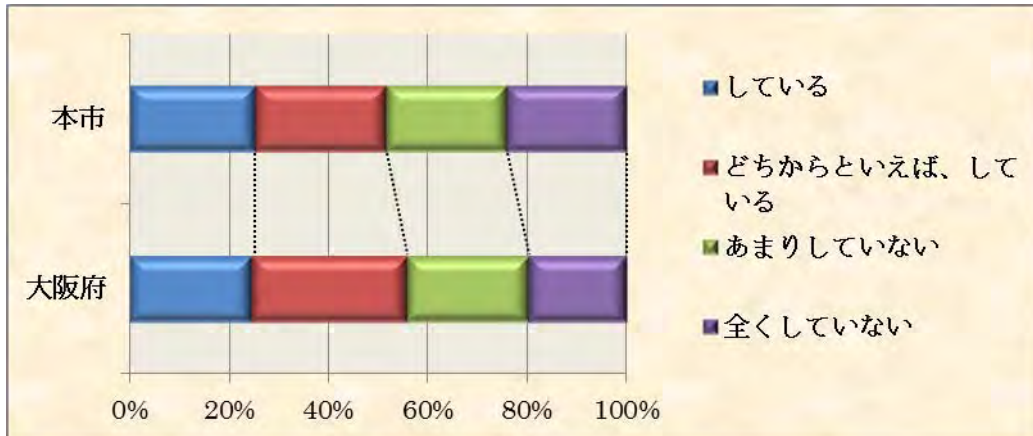
学力調査とのクロス集計



②学習計画

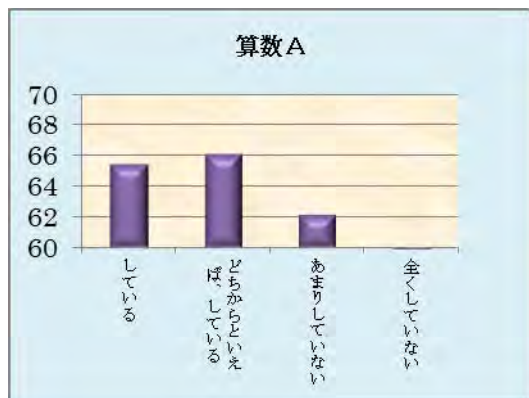
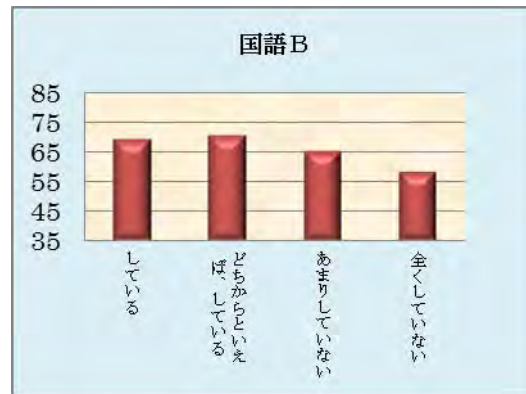
「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」

小学生

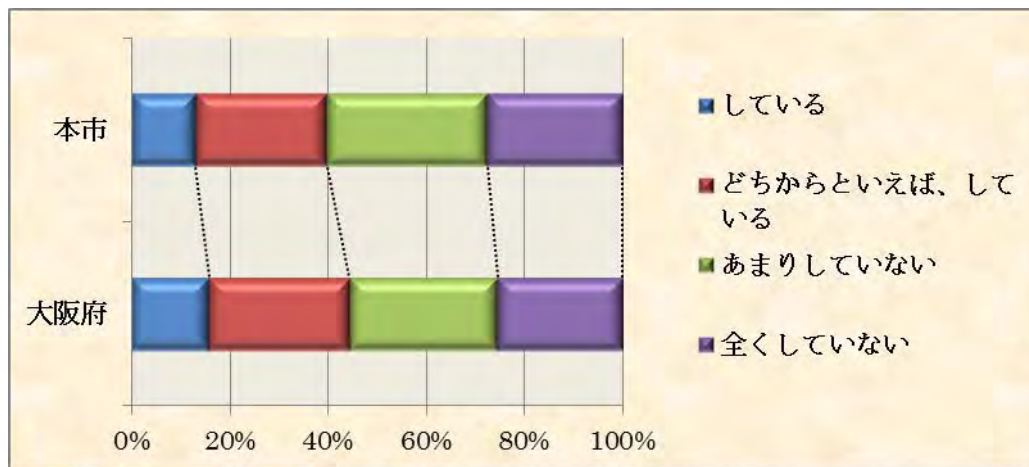


自分で計画を立てて学習している子どもの割合が本市は大阪府平均より低い。

学力調査とのクロス集計

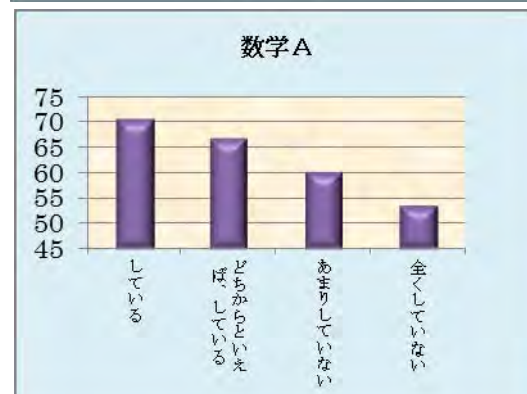
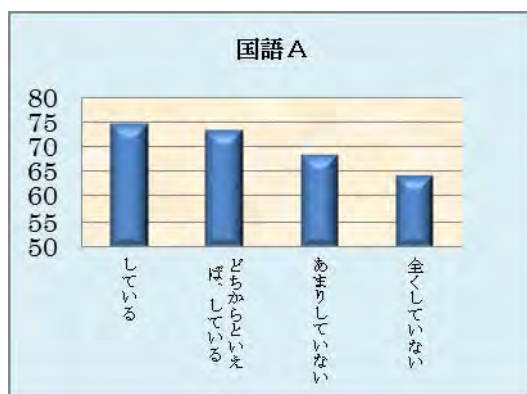


中学生



自分で計画を立てて勉強することをしていない子どもの割合が6割近くもいる。

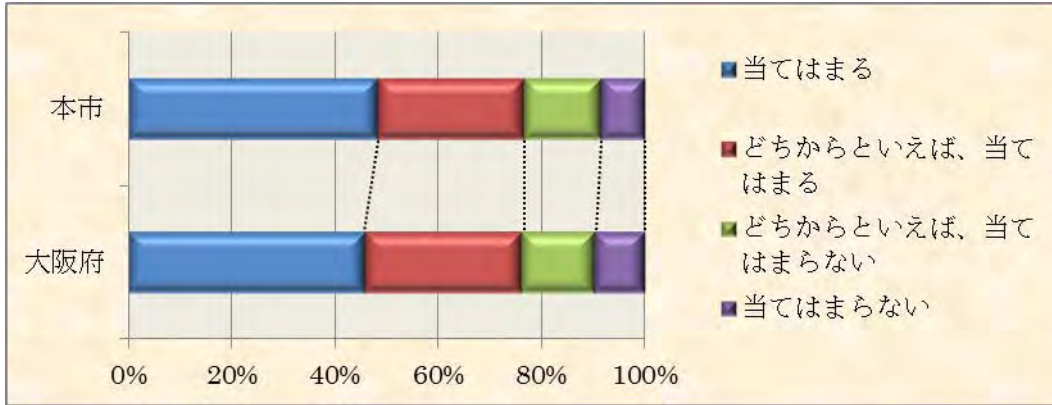
学力調査とのクロス集計



③読書

「読書は好きですか」

小学生

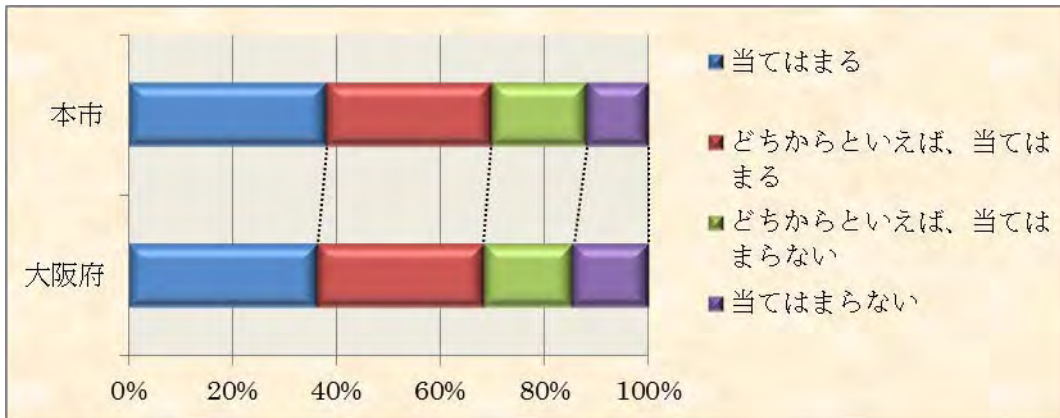


本市の読書好きの子どもの割合は、大阪府平均より高い。

学力調査とのクロス集計

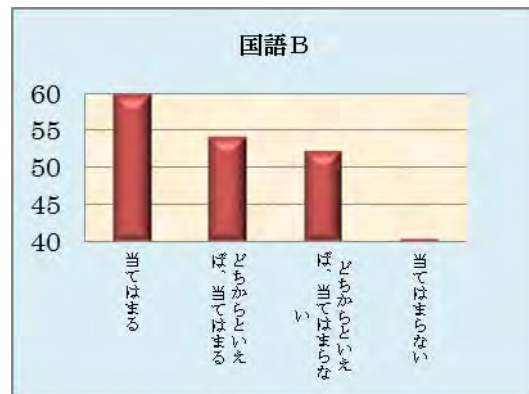


中学生



読書好きの生徒が大阪府平均よりも高い。

学力調査とのクロス集計

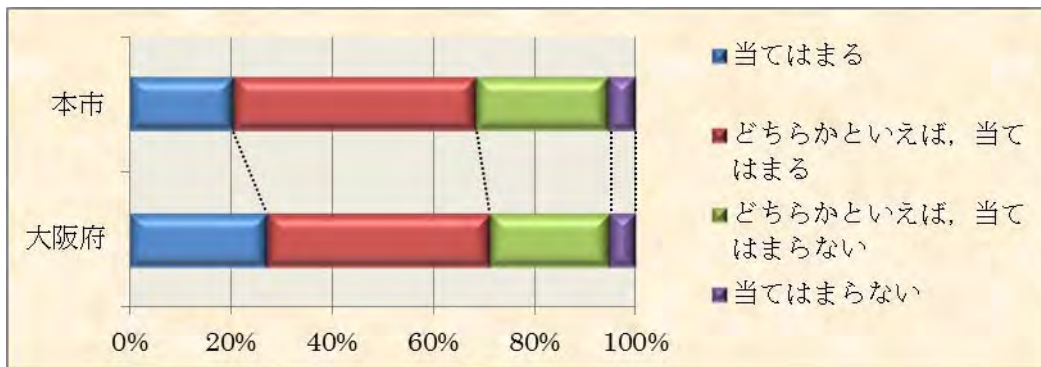


本市の特徴的なものから

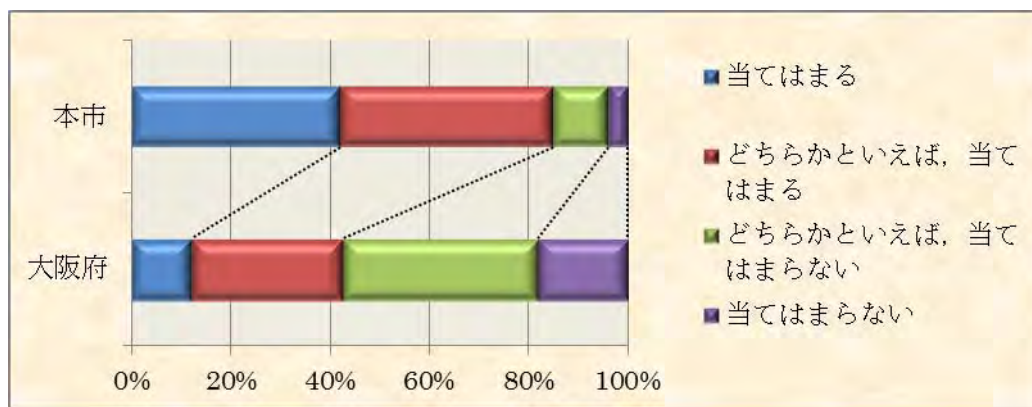
話し合う

「普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか」

小学生



中学生

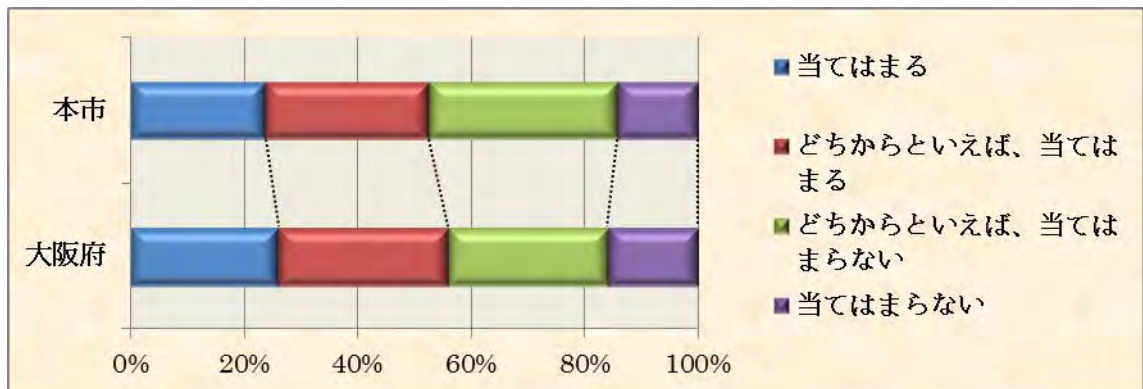


話し合いを中心とした授業が中学校を中心とする大阪府平均より高い割合をしめしている。

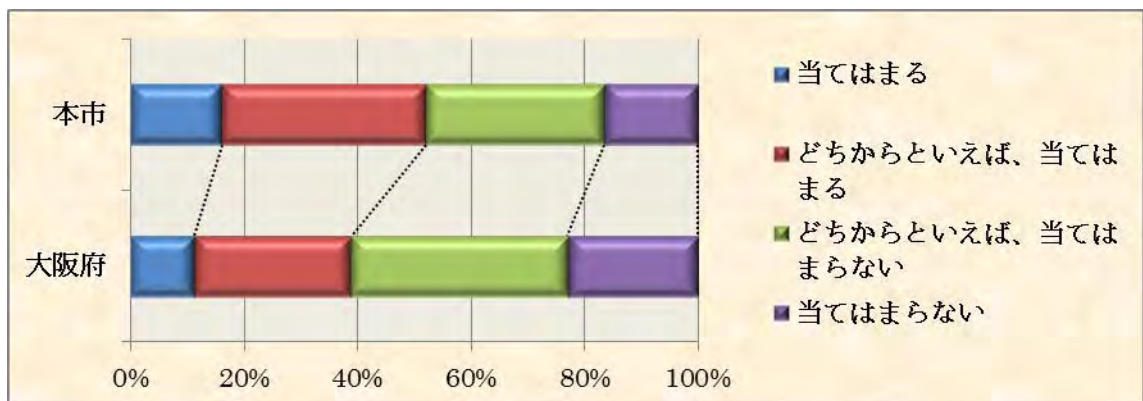
発表する

「ふだんの授業では、自分の考えを発表する機会がよくある」

小学生



中学生

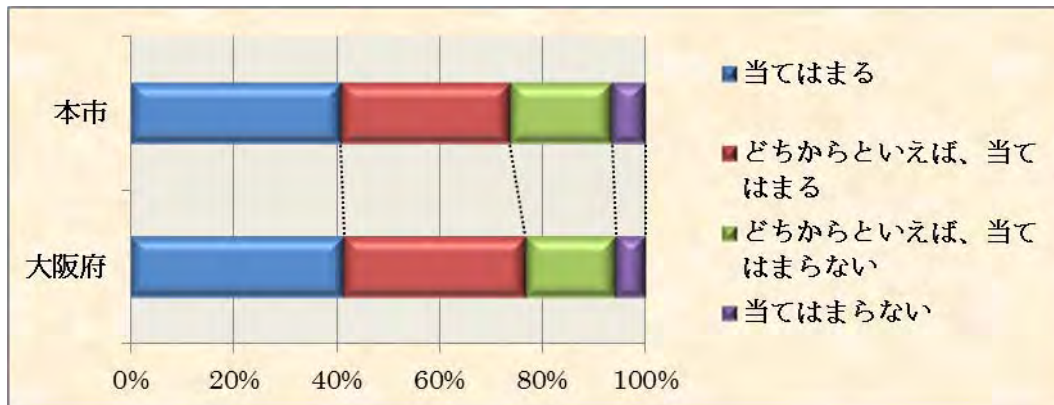


言語活動の授業が、小学生と中学校ともに同じ割合ですすめられ、中学校は大阪府平均より高い。

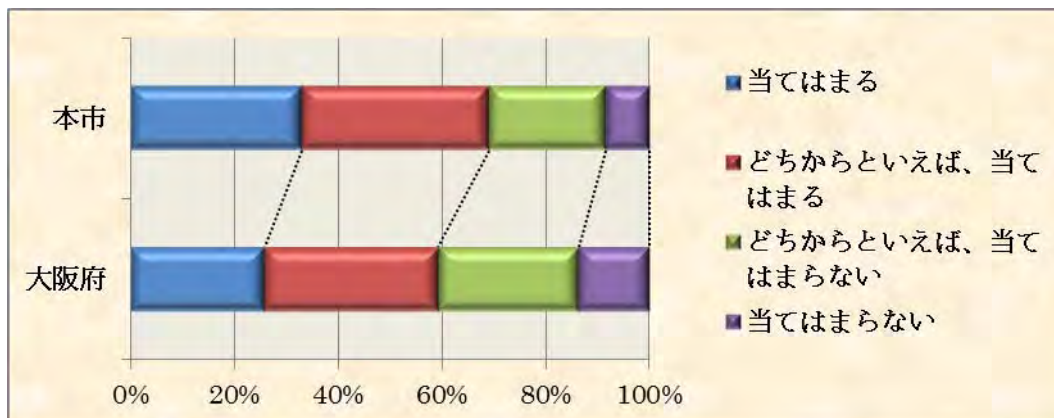
ノートにまとめる

「ふだんの授業では、自分の考えをノートやプリントにまとめる活動をよく行っている」

小学生



中学生

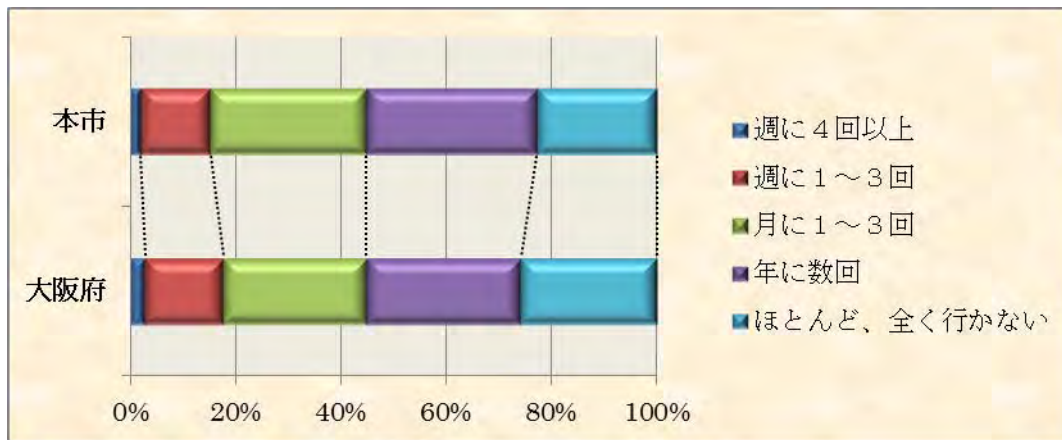


言語活動の授業が、小学生と中学校ともに同じ割合ですすめられ、中学校は大阪府平均より高い。

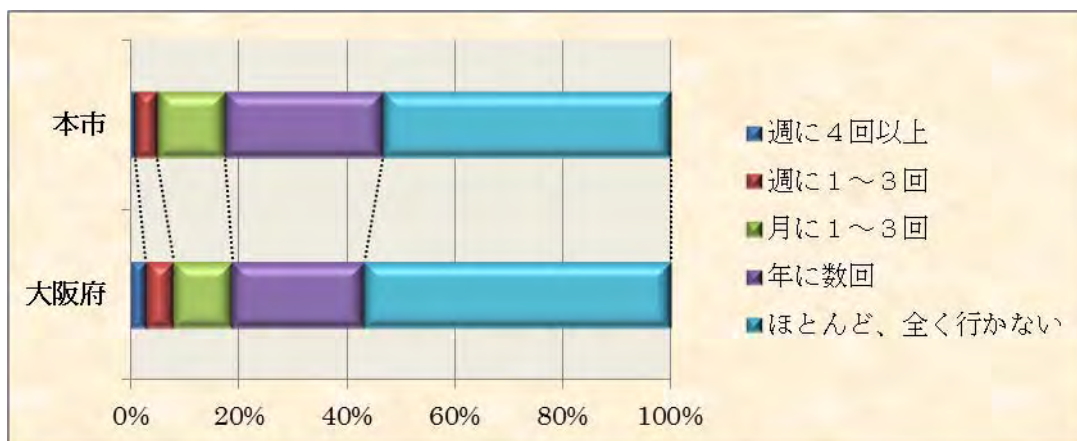
図書館の利用

「昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館へどれくらい行きますか」

小学生



中学生

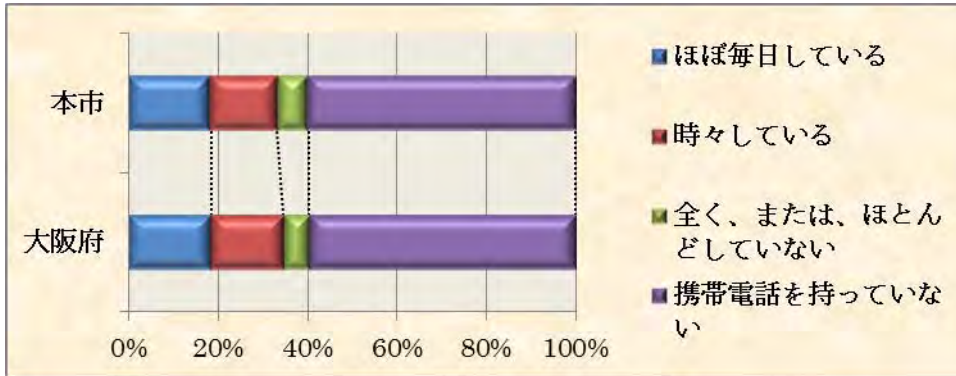


小学生と比べて図書館にほとんど、全く行かない子どもの割合が増えている。

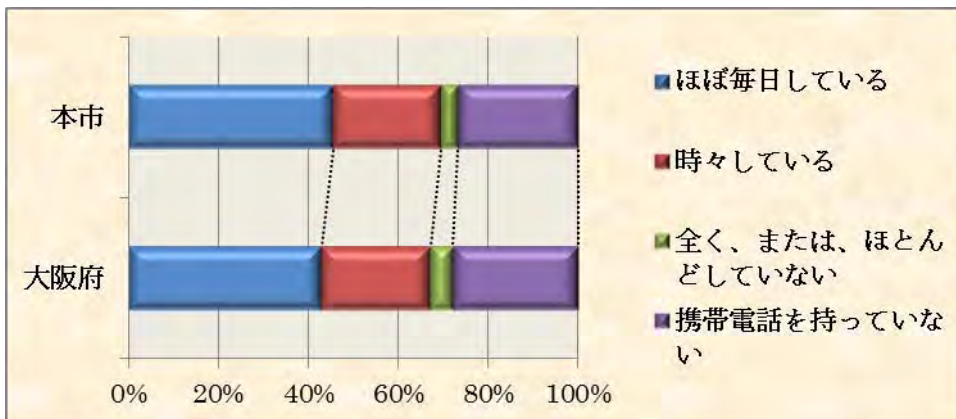
携帯電話

「携帯電話で通話やメールをしていますか」

小学生



中学生

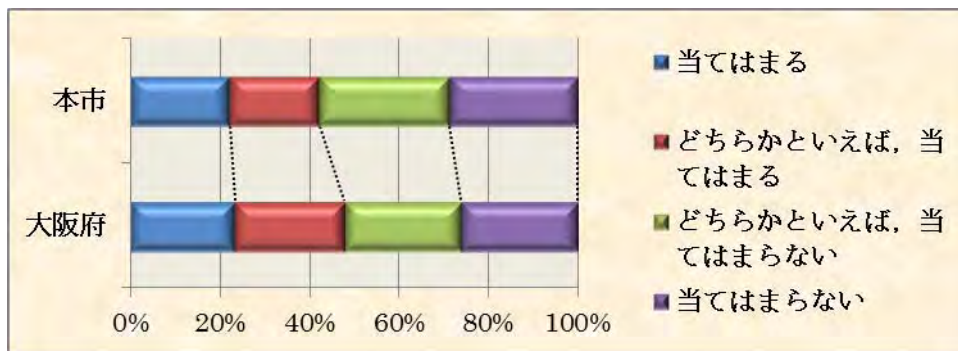


携帯電話の所有率、使用頻度は小学生から倍増している。本市の中学校の子ども使用頻度は大阪府平均より高い。

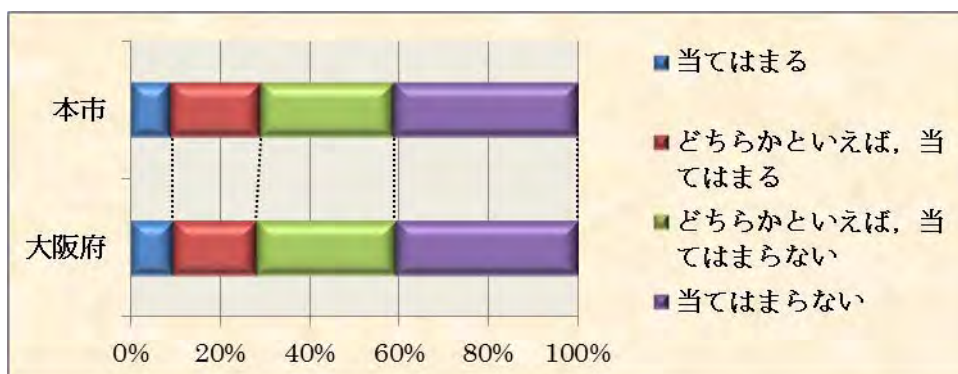
社会に対する興味、関心

「今住んでいる地域の行事に参加していますか」

小学生



中学生

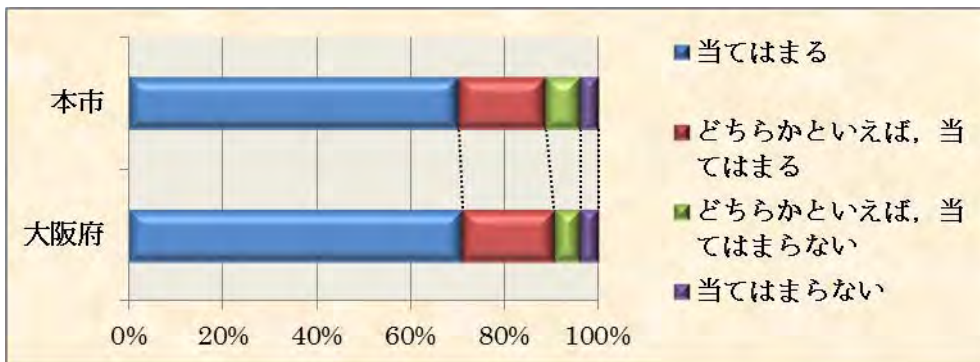


本市では地域行事に参加している子どもの割合が小学生は大阪府平均よりも低く、全く参加していない子どもが中学校で増加している。

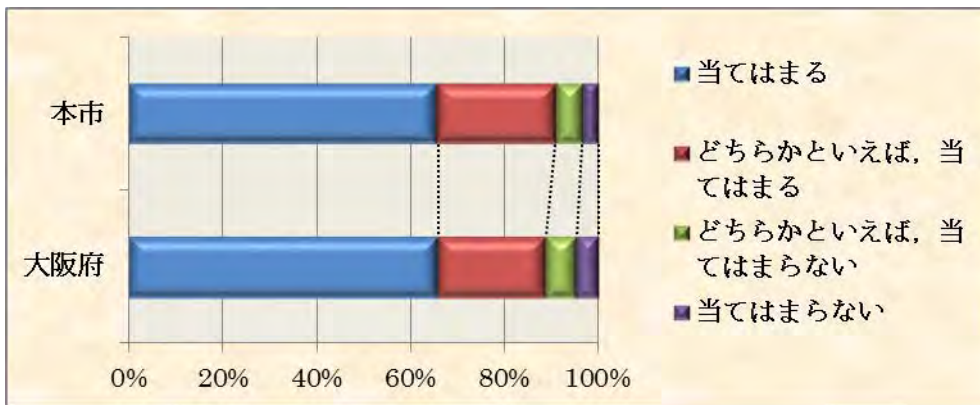
規範意識

「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」

小学生



中学生

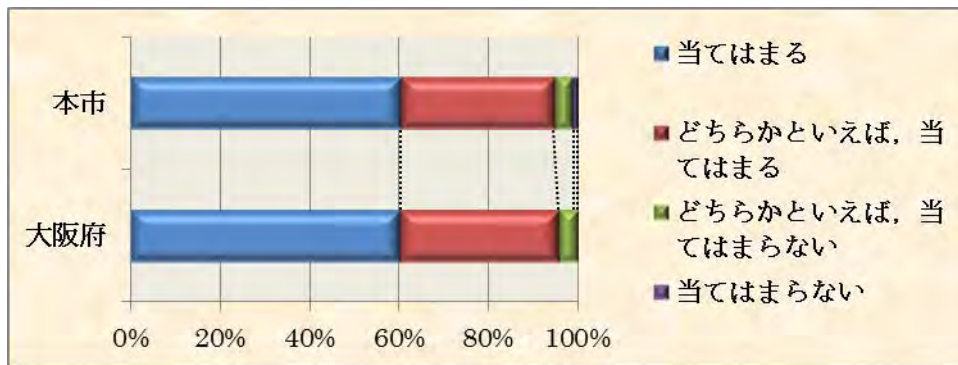


いじめは、どんな理由があってもいけないと考える本市の子どもの割合は、小学校で大阪府平均より下回る。

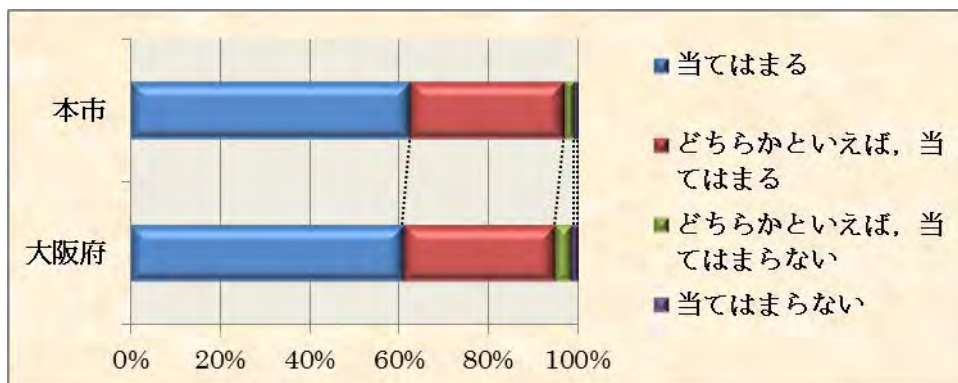
規範意識

「友達との約束を守っている。」

小学生



中学生

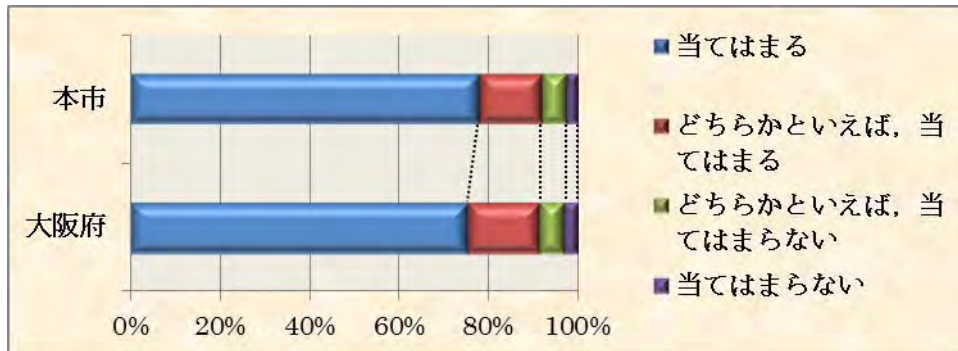


規範意識が、大阪府平均よりも高い割合を占めている。

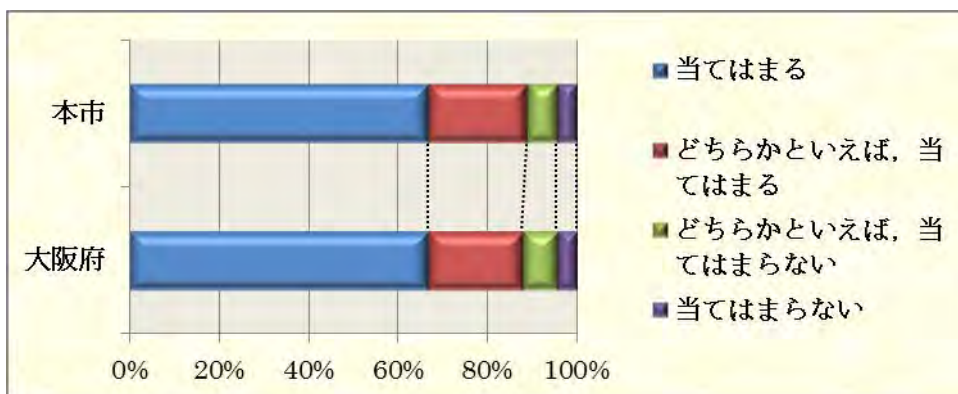
成就体験

「ものごとを最後までやりとげてうれしかったことがありますか。」

小学生



中学生

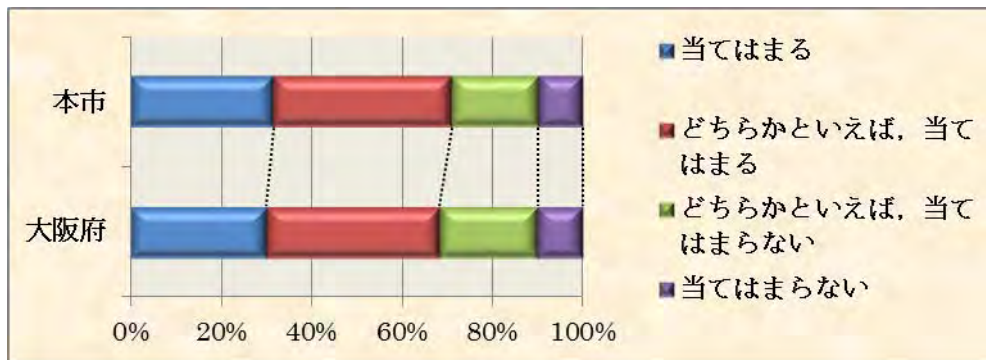


成就体験が小・中ともに大阪府平均より高い。

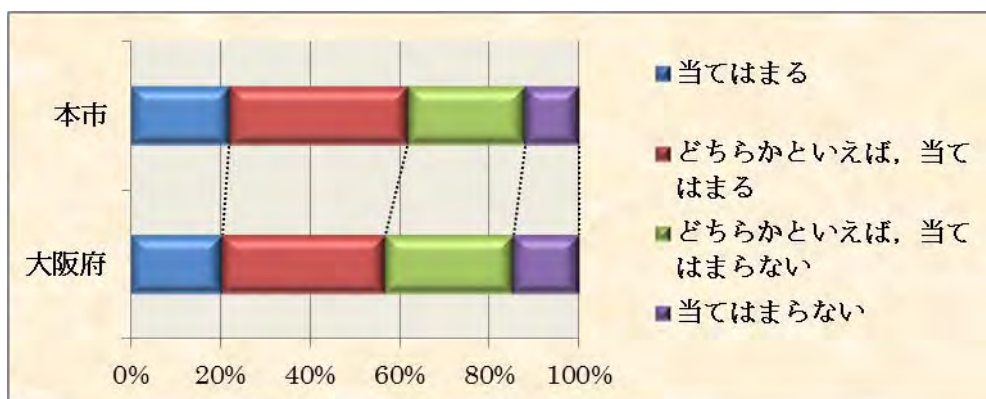
自尊感情

「自分には、よいところがあると思いますか。」

小学生



中学生



柏原市の子どもたちは自尊感情がたかい。